

2024年11月7日

## CUC公開講座2024 第7回 世界の動向から読み解く 企業とサステナビリティ 国内外からの情報開示要求とその対応

千葉商科大学(所在地:市川市国府台 学長:原科幸彦 略称:CUC)は、社会貢献活動の一環として「CUC 公開講座2024」を開講しています。オンライン形式と対面講義を選んで参加できますので、遠方の方もぜひご参加ください。

### ◆第7回 講座概要「企業とサステナビリティ 国内外からの情報開示要求とその対応」

どなたでも参加できます 参加無料 オンライン/対面形式

サステナビリティ情報の開示(※)は法的拘束力がないが、株主などステークホルダーの信頼や評価を得るために対応しなければならぬ任意の活動と考えられてきました。しかし、昨今ではより強制力が強いものに変化しつつあります。こうした背景には EU で 2014 年に公表された NFRD(非財務情報開示指令)、2023 年 1 月に発効された CSRD(企業サステナビリティ報告指令)の影響があります。EU 加盟国は CSRD に定められた目標を達成するため国内法を整備する必要が生じています。また、国際財務報告基準の策定を担う IFRS 財団はサステナビリティ情報の報告基準設定機関の集約化と開示情報基準の整理を進めています。日本でも今後、国際的な基準に基づくサステナビリティ情報の開示要請が高まる見込みです。

本講座では、世界の動向をふまえサステナビリティ情報の開示基準とポイント、必要となる対応について考えます。

※ 企業が環境・社会・経済の3つの観点から、持続可能な社会の実現に貢献するために行っている取り組みを公開すること。

【開催日時】 11月29日(金) 15:30~17:10

【会場】 対 面 : 千葉商科大学市川キャンパス 本館3階 3-1 会議室

※公共交通機関をご利用ください。

オンライン: zoom

【申込期間】 11月28日(木)15:00 まで

【申込方法】 下記 Web ページの申込みフォームまたは二次元コードよりお申し込みください。

[https://www.cuc.ac.jp/event/2024/koza\\_project.html](https://www.cuc.ac.jp/event/2024/koza_project.html)



### 【プログラム】

15:30 ~ 15:35 【学長挨拶】

原科 幸彦 (千葉商科大学 学長)

15:35 ~ 16:15 【講演】「サステナビリティ開示の規範形成と実務に関する過去経緯、現状および将来展望」

森 洋一 氏

(日本公認会計士協会テクニカルディレクター/サステナビリティ基準委員会委員/公認会計士)

16:15 ~ 16:45 【対談】

森 洋一 氏

藤沼 垂起 氏

(学校法人千葉学園 監事/日本公認会計士協会相談役(元会長)/元 国際会計士連盟会長  
塩野義製薬株式会社 監査役/一般社団法人日本公認不正検査士協会評議員)

16:45 ~ 17:05 【質疑応答】

17:05 ~ 17:10 【閉会挨拶】

橋本 隆子 (千葉商科大学商経学部教授/学長プロジェクト 2 リーダー)

【司会進行】 齊藤 紀子 (千葉商科大学人間社会学部准教授/学長プロジェクト 2 サブリーダー)

【本件に関するお問い合わせ先】 千葉商科大学 学長事務室

TEL:047-373-9797 / E-mail: p-office@cuc.ac.jp